

2013年9月22日実施

平成25年度（第49回）
情報処理検定試験
〈プログラミング部門〉
第1級 試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は10ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】【2】【3】【4】【5】【6】は共通問題です。
5. 【7】の問題はJ a v a ・マクロ言語・COBOLのいずれか1つを選択し、解答用紙の選択言語を○で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

【 4 】 次の各問いに答えなさい。

問 1. 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)~(3)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

配列に記憶した数値を探索してメッセージを表示する。

処理条件

1. 配列 Tan に数値を昇順に記憶する。なお、データは n 件であり、同じ数値はないものとする。

配列

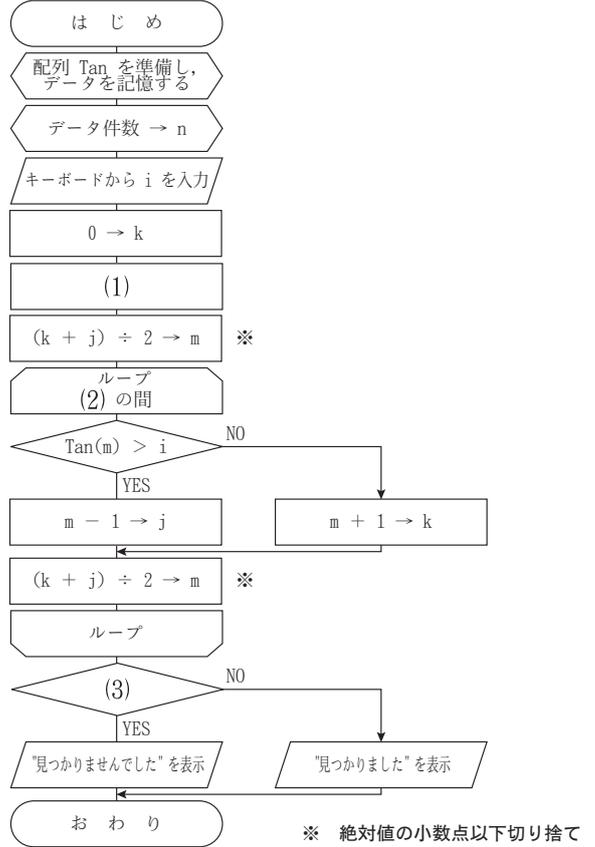
Tan	(0)	~	(n-1)
	101	~	253

2. キーボードから入力した数値を探索し、見つからなかった場合は「見つかりませんでした」を、見つかった場合は「見つかりました」をディスプレイに表示する。

解答群

- ア. $k \leq j$ かつ $\text{Tan}(m) \neq i$
- イ. $k + 1 = j$
- ウ. $k \leq j$ または $\text{Tan}(m) \neq i$
- エ. $n - 1 \rightarrow j$
- オ. $k > j$
- カ. $n \rightarrow j$

<流れ図>



問 2. 流れ図の説明を読んで、流れ図の(4)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

配列に記憶した数値を昇順に並べ替えて表示する。

処理条件

1. 配列 Kin に数値を記憶する。なお、データは n 件である。

配列

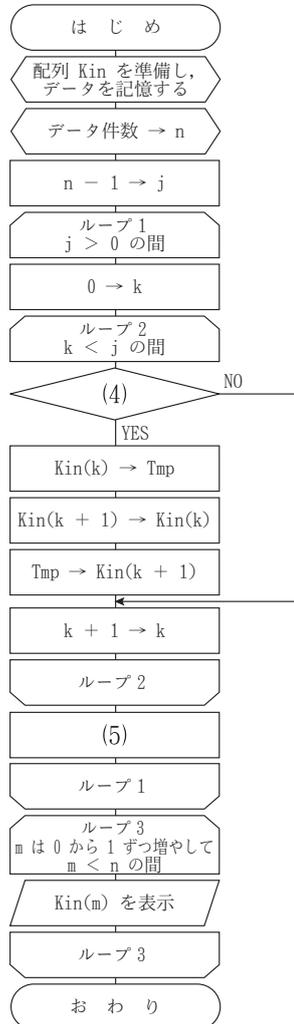
Kin	(0)	~	(n-1)
	83	~	25

2. 配列 Kin の数値を昇順に並べ替える。
3. 並べ替えが終わったら、配列 Kin の内容をディスプレイに表示する。

解答群

- ア. $j + 1 \rightarrow j$
- イ. $\text{Kin}(k) > \text{Kin}(k + 1)$
- ウ. $j - 1 \rightarrow j$
- エ. $\text{Kin}(k) < \text{Kin}(k + 1)$

<流れ図>



【 5 】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

1 か月分の入力データを読み、売上数量を集計し、曜日別売上金額の平均を表示する。

入力データ

月日 (Hiduke)	曜日種別 (Ysyu)	商品番号 (Sban)	売上数量 (Suryo)
××××	×	×	×××

(第 1 図)

実行結果

(曜日別売上金額の平均)			
(曜日)	(日数)	(金額計)	(平均)
日	4	2,205,040	551,260
土	4	2,035,096	508,774
}	}	}	}
火	5	1,720,625	344,125

(第 2 図)

処理条件

- 第 1 図の入力データは、月日の昇順に記録されている。
- 配列 Yobi に曜日を記憶する。なお、添字は曜日種別に対応している。

配列

Yobi

(0)	(1)	~	(5)	(6)
日	月	~	金	土

- 配列 Tanka に、5 種類の商品の単価を記憶する。なお、添字は商品番号に対応している。

配列

Tanka

(0)	(1)	(2)	~	(5)
	220	240	~	210

- 第 1 図の入力データを読み、売上数量を配列 Syu に集計する。なお、0 列目には各曜日の日数をカウントする。また、行方向の添字は曜日種別が、列方向の添字は商品番号がそれぞれ対応している。

配列

Syu

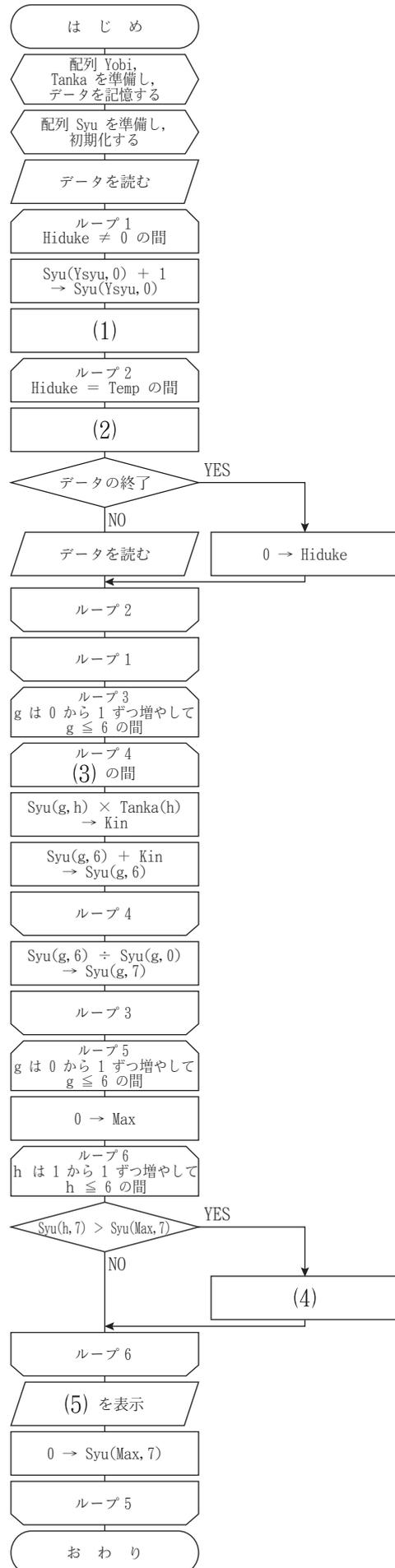
	(0)	(1)	(2)	~	(5)	(6)	(7)	
(0)				~				(日)
(1)				~				(月)
}	}	}	}	}	}	}	}	}
(5)				~				(金)
(6)				~				(土)
	(日数)	(商品A)	(商品B)	~	(商品E)	(金額計)	(平均)	

- 入力データが終了したら、配列 Tanka を参照して金額計を求め、金額計と日数により平均を求める。
- 第 2 図のように、平均の降順にディスプレイに表示する。
- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. $Syu(Ysyu, 0) + Suryo \rightarrow Syu(Ysyu, 0)$
- イ. $Yobi(Max), Syu(Max, 0), Syu(Max, 6), Syu(Max, 7)$
- ウ. h は 1 から 1 ずつ増やして $h < 5$
- エ. $h \rightarrow Max$
- オ. $Hiduke \rightarrow Temp$
- カ. $g \rightarrow Max$
- キ. h は 1 から 1 ずつ増やして $h \leq 5$
- ク. $0 \rightarrow Temp$
- ケ. $Syu(Ysyu, Sban) + Suryo \rightarrow Syu(Ysyu, Sban)$
- コ. $Yobi(g), Syu(g, 0), Syu(g, 6), Syu(g, 7)$

<流れ図>



【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

1年分の入力データを読み、車種ごとに販売台数の3位までを表示する。

入力データ

月 (Tuki)	販売員コード (Hcode)	車種コード (Scode)	台数 (Su)
××	×××××	×	××

(第1図)

実行結果

(車種別販売台数 ベスト3)		
セダン		
1	鈴木	83
}	}	}
ワゴン		
1	水野	66
2	大木	64
3	相沢	52
3	高橋	52
}	}	}
合計台数		
1	喜田	154
}	}	}

(第2図)

処理条件

1. 配列 Smei に車種名を、配列 Hmei に販売員コードと販売員名を記憶する。なお、Smei の添字は車種コードに対応している。

配列

Smei	(0)	(1)	(2)	(3)	Hmei	(0)	(1)
	合計台数	セダン	ワゴン	スポーツ		(0)	
						(1)	1061K 山田
							}
						(15)	2212F 渡辺

2. 第1図の入力データを読み、台数を配列 Dai に集計する。また、Dai の0列目には合計台数を集計する。なお、配列 Hmei と Dai の行方向の添字は対応している。

配列

Dai	(0)	(1)	(2)	(3)
(0)				
(1)	}	}	}	}
(15)				

(合計台数) (セダン) (ワゴン) (スポーツ)

3. 入力データが終了したら、配列 Rank を利用し、車種別に集計した台数の降順に順位をつける。

配列

Rank	(0)	(1)	(2)	(3)
(0)				
(1)	}	}	}	}
(15)				

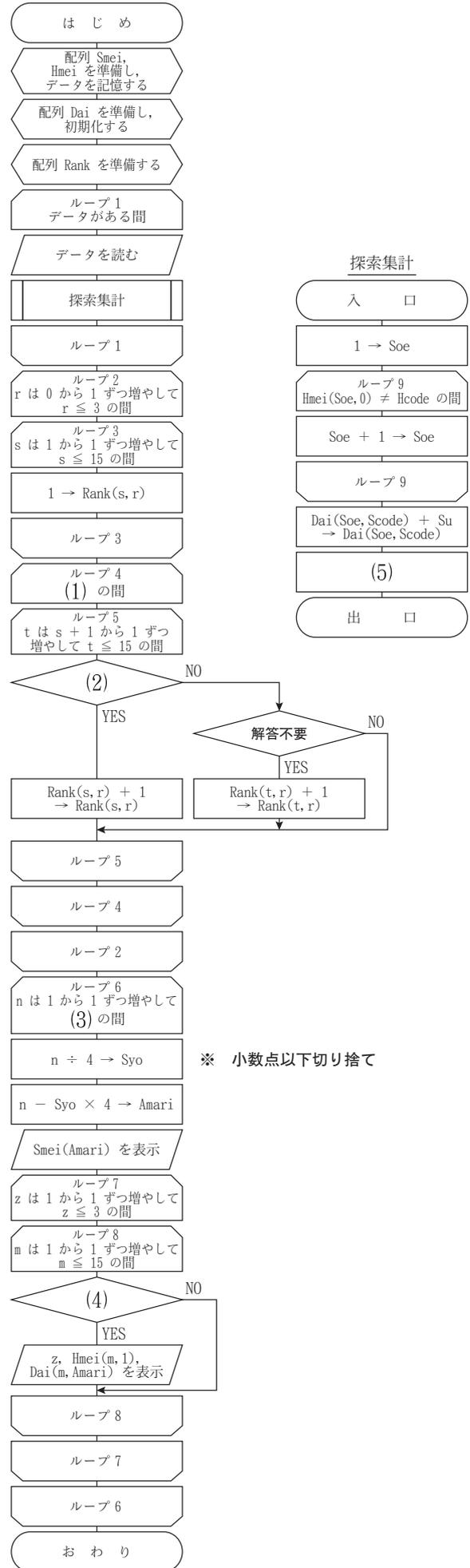
(合計台数) (セダン) (ワゴン) (スポーツ)

4. 第2図のように、車種ごとに3位までの販売員をディスプレイに表示する。なお、表示順は、セダン、ワゴン、スポーツ、合計台数とする。
5. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. s は 1 から 1 ずつ増やして $s \leq 14$
- イ. $Dai(0, 0) + Su \rightarrow Dai(0, 0)$
- ウ. $Dai(s, r) < Dai(t, r)$
- エ. $Rank(m, n) \neq z$
- オ. s は 0 から 1 ずつ増やして $s \leq 13$
- カ. $Dai(Soe, 0) + Su \rightarrow Dai(Soe, 0)$
- キ. $n \leq 3$
- ク. $Rank(m, Amari) = z$
- ケ. $Dai(s, r) > Dai(t, r)$
- コ. $n \leq 4$

<流れ図>



探索集計

入 口
1 → Soe
ループ9 Hmei(Soe, 0) ≠ Hcode の間
Soe + 1 → Soe
ループ9
Dai(Soe, Scode) + Su → Dai(Soe, Scode)
(5)
出 口

※ 小数点以下切り捨て

【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

サービス商品データと売上データを読み、クリーニング店の年間売上金額を表示する。

入力データ

サービス商品データ (ファイル名: goods.csv)

サービス商品コード	サービス商品名	単価
××	×~×	××××

(第1図)

売上データ (ファイル名: selling.csv)

サービスコード	月	枚数
×××	××	×××

(第2図)

実行結果

サービス商品コード(1~20)を入力してください。→5	
Yシャツ	
9月	44,600
7月	42,200
}	}
12月	29,200
1月	28,800
年間売上金額	392,600
サービス商品コード(1~20)を入力してください。→10	
スラックス	
}	}

(第3図)

処理条件

1. 配列 optionUnitPrice に、特殊加工単価を記憶する。

配列

optionUnitPrice	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	0	100	150	200	500	800	1200
	(なし)	(花粉防止)	(静電気防止)	(折り目)	(はっ水)	(防水)	(防災)

2. 第1図のサービス商品データを読み、サービス商品を管理する Service クラスをインスタンス化し、サービス商品コードを添字として、配列 goods[1]~[20] に記憶する。なお、サービス商品コードは1~20である。

配列

goods	(0)	(1)	(2)	~	(19)	(20)

3. Service クラスの配列 sortMonth に、以下のように1~12の値を記憶する。

配列

sortMonth	(0)	(1)	(2)	~	(11)	(12)
		1	2	~	11	12

4. 第2図の売上データを読み、次の処理を行う。

- ・ サービスコードは、次の例のように構成されている。なお、特殊加工コードは配列 optionUnitPrice と添字で対応しており、単価に加算する。

例 104 → 10 4
 サービス商品コード 特殊加工コード

- ・ 枚数と単価から売上金額を求め、Service クラスの配列 sellTotal に、サービス商品別、月別に集計する。なお、サービス商品コードは配列 goods と、月は配列 sellTotal, sortMonth と添字で対応している。

配列

sellTotal	(0)	(1)	(2)	~	(11)	(12)	(13)
		(1月)	(2月)	~	(11月)	(12月)	(合計)

5. データを読み終えたあと、サービス商品別に、配列 sellTotal の各月の売上金額を降順に並べ替える。
6. 第3図のように、キーボードからサービス商品コードを入力すると、該当のサービス商品名と各月の売上金額、年間売上金額をディスプレイに表示する。
7. キーボードから、0が入力されたら処理を終了する。

<Javaプログラム>

//クラスService

```
public class Service {
    private String name;
    private int unitPrice;
    private int[] sortMonth = new int[13];
    private int[] sellTotal = new int[14];
    public Service(String name, int unitPrice) {
        this.name = name;
        this.unitPrice = unitPrice;
        for(int i = 1; i < 13; i++) {
            (1);
        }
        for(int i = 1; i < 14; i++) {
            sellTotal[i] = 0;
        }
    }
}
```

```

public void total(int month, int sales, int optionUnitPrice) {
    int money = sales * (unitPrice + optionUnitPrice);
    (2) += money;
    sellTotal[13] += money;
}
public void sortTotal() {
    for(int idxMonth = 1; idxMonth < 12; idxMonth++) {
        int max = idxMonth;
        for(int idxTotal = idxMonth + 1; idxTotal < 13; idxTotal++) {
            if(sellTotal[idxTotal] > sellTotal[max]) {
                (3);
            }
        }
        if(idxMonth != max) {
            sellTotal[0] = sellTotal[idxMonth];
            sellTotal[idxMonth] = sellTotal[max];
            sellTotal[max] = sellTotal[0];
            sortMonth[0] = sortMonth[idxMonth];
            sortMonth[idxMonth] = sortMonth[max];
            sortMonth[max] = sortMonth[0];
        }
    }
}
public void printSellTotal() {
    System.out.println(name);
    for(int i = 1; i < 13; i++) {
        System.out.printf("¥t%2d月" + " ¥t%,7d¥n", sortMonth[i], sellTotal[i]);
    }
    System.out.printf("年間売上金額" + " ¥t%,7d¥n", sellTotal[13]);
}
}

//クラスCleaning
import java.io.BufferedReader;
import java.io.FileReader;
import java.util.Scanner;

public class Cleaning {
    private static Service[] goods = new Service[21];
    private static int[] optionUnitPrice = { 0, 100, 150, 200, 500, 800, 1200 };
    public static void main(String[] args) {
        try {
            BufferedReader fileIn = new BufferedReader(new FileReader("goods.csv"));
            String line;
            while((line = fileIn.readLine()) != null) {
                String[] str = line.split(",");
                int code = Integer.parseInt(str[0]);
                String name = str[1];
                int unitPrice = Integer.parseInt(str[2]);
                goods[code] = new Service(name, unitPrice);
            }
            fileIn.close();
            fileIn = new BufferedReader(new FileReader("selling.csv"));
            while((line = fileIn.readLine()) != null) {
                String[] str = line.split(",");
                int serviceCode = Integer.parseInt(str[0]);
                int month = Integer.parseInt(str[1]);
                int sales = Integer.parseInt(str[2]);
                int idx = (4);
                int option = serviceCode % 10;
                goods[idx].total(month, sales, optionUnitPrice[option]);
            }
            fileIn.close();
        } catch(Exception e) {
            System.out.println("エラーが発生しました" + e);
        }
        for(int i = 1; i < 21; i++) {
            goods[i].sortTotal();
        }
        Scanner keyboardIn = new Scanner(System.in);
        System.out.print("サービス商品コード(1~20)を入力してください。→");
        int code = keyboardIn.nextInt();
        while(code != 0) {
            (5);
            System.out.print("サービス商品コード(1~20)を入力してください。→");
            code = keyboardIn.nextInt();
        }
        keyboardIn.close();
    }
}

```

【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

1年間の入場者データを読み、指定したイベント分類の集計結果を表示する。

入力データ

入場者データ (ファイル名: nyujosya.csv)

月	日	イベント分類コード	入場者数
××	××	×××	×××××

(第1図)

ユーザーフォーム・実行結果

イベント分類別入場者数計

コンサート	月	入場者数計	構成比率
	7月	107,405	28.0%
	12月	98,544	25.7%
	}	}	}
	1月	14,429	3.8%
	2月	10,365	2.7%
	合計	383,769	

(TextBox1)

イベント分類コード

102

(TextBox2)

実行

クリア

終了

(第2図)

処理条件

- 第1図の入場者データは月と日の昇順に記録されている。なお、イベント分類コードは9種類である。
- ユーザーフォーム初期化時に、次の処理を行う。
 - 配列 EveCod にイベント分類コード、配列 EveMei にイベント分類名、配列 Tuki に1~12の値を記憶する。なお、Tuki の列方向の添字は、EveCod、EveMei の添字と対応している。

配列

EveCod	(0)	(1)	(2)	~	(9)
		101	102	~	204

EveMei	(0)	(1)	(2)	~	(9)
	全イベント分類	商談会	コンサート	~	物販

Tuki	(0)	(1)	(2)	~	(9)
(0)				~	
(1)	1	1	1	~	1
}	}	}	}	}	}
(11)	11	11	11	~	11
(12)	12	12	12	~	12

- 第1図の入場者データを読み、イベント分類コードをもとに配列 EveCod を探索する。
- 配列 Syukei に入場者数計を、配列 EveGok に年間の入場者数計を求める。なお、各配列の0列目には全イベント分類の入場者数計を求める。また、Syukei の添字は、配列 Tuki の添字と対応しており、EveGok の添字は、Syukei の列方向の添字と対応している。

配列

Syukei	(0)	(1)	(2)	~	(9)
(0)				~	
(1)				~	
}	}	}	}	}	}
(11)				~	
(12)				~	

EveGok	(0)	(1)	(2)	~	(9)
	(全イベント分類)	(商談会)	(コンサート)	~	(物販)

- 表示したいイベント分類コードを TextBox2 に入力し、「実行」ボタンをクリックすると、次の処理を行う。
 - イベント分類コードをもとに配列 EveCod を探索し、TextBox1 にイベント分類名を表示する。
 - 配列 Tuki、Syukei の該当する列のデータを入場者数計の降順に並べ替える。なお、入場者数計が同じ場合は、月の昇順に並べ替える。また、イベント分類コードが未入力か入力ミスの場合は、全イベント分類の列を並べ替える。
 - TextBox1 に月から構成比率までを表示し、最後に年間の入場者数計を表示する。

< マクロ言語プログラム >

```
Option Explicit
Dim EveCod(9) As Long, EveMei(9) As String, Tuki(12, 9) As Long, Syukei(12, 9) As Long, EveGok(9) As Long
```

```
Private Sub UserForm_Initialize()
    Dim g As Long, h As Long, Tuk As Long, Hi As Long, Ec As Long, Nyujo As Long, m As Long
    TextBox1.Text = "": TextBox2.Text = ""
    EveCod(1) = 101: EveCod(2) = 102: EveCod(3) = 103: EveCod(4) = 104: EveCod(5) = 105
    EveCod(6) = 201: EveCod(7) = 202: EveCod(8) = 203: EveCod(9) = 204
    EveMei(0) = "全イベント分類": EveMei(1) = "商談会": EveMei(2) = "コンサート": EveMei(3) = "展示会": EveMei(4) = "講演会"
    EveMei(5) = "式典": EveMei(6) = "映画・演劇": EveMei(7) = "セミナー": EveMei(8) = "会議": EveMei(9) = "物販"
    For g = 0 To 9
        For h = 1 To 12
            (1)
            Syukei(h, g) = 0
        Next h
        EveGok(g) = 0
    Next g
    Open ThisWorkbook.Path & "\nyujosya.csv" For Input As #1
    Do While Not EOF(1)
        Input #1, Tuk, Hi, Ec, Nyujo
        m = 1
        Do While EveCod(m) <> Ec
            m = m + 1
        Loop
        Syukei(Tuk, m) = Syukei(Tuk, m) + Nyujo
        Syukei(Tuk, 0) = Syukei(Tuk, 0) + Nyujo
        (2)
        EveGok(0) = EveGok(0) + Nyujo
    Loop
    Close #1
End Sub
```

```
Private Sub 実行_Click()
    Dim n As Long, p As Long, Max As Long, t As Long, y As Long, Wari As Single
    TextBox1.Text = ""
    EveCod(0) = Val(TextBox2.Text)
    n = 9
    Do While (3)
        n = n - 1
    Loop
    TextBox1.Text = EveMei(n) & Chr(13) & Chr(10)
    If Tuki(0, n) <> 99 Then
        For p = 1 To 11
            Max = p
            For t = p + 1 To 12
                If (4) Then
                    Max = t
                Else
                    If Syukei(t, n) = Syukei(Max, n) And Tuki(t, n) < Tuki(Max, n) Then
                        Max = t
                    End If
                End If
            Next t
            If p <> Max Then
                Syukei(0, n) = Syukei(p, n): Syukei(p, n) = Syukei(Max, n): Syukei(Max, n) = Syukei(0, n)
                Tuki(0, n) = Tuki(p, n): Tuki(p, n) = Tuki(Max, n): Tuki(Max, n) = Tuki(0, n)
            End If
        Next p
        Tuki(0, n) = 99
    End If
    TextBox1.Text = TextBox1.Text & " 月 入場者数計 構成比率" & Chr(13) & Chr(10)
    For y = 1 To 12
        Wari = Syukei(y, n) * 100 / EveGok(n)
        TextBox1.Text = TextBox1.Text & Format(Tuki(y, n), "#0") & "月" & " " & Format(Syukei(y, n), "###,##0") & _
            " " & Format(Wari, "##0.0") & "%" & Chr(13) & Chr(10)
    Next y
    TextBox1.Text = TextBox1.Text & "合計" & " " & Format((5), "#,###,##0")
End Sub
```

```
Private Sub クリア_Click()
    TextBox1.Text = "": TextBox2.Text = ""
End Sub
```

```
Private Sub 終了_Click()
    End
End Sub
```

【7】 プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

売上ファイルを読み、書籍チェーン店の売上一覧表を印字する。

入力データ

売上ファイル (ファイル名: URIAGE-F, レコード名: URIAGE-R)

日付 (U-HI)	店舗コード (U-TEN)	分類コード (U-BUN)	金額 (U-KIN)
××××	××	×	×××××

(第1図)

実行結果

(ファイル名: PRINT-F, レコード名: PRINT-R)

(分類別・店舗別売上一覧表)		
書籍		
○~○店	39,143	6.6%
}	}	}
▲~▲店	21,498	3.6%
(合計)	586,220	

店舗合計		
□~□店	311,080	9.3%
}	}	}
▽~▽店	46,830	1.4%
(合計)	3,344,880	

(第2図)

処理条件

- 第1図の売上ファイルの店舗コードは1~20であり、分類コードは1~4である。
- テーブル TENPO-TBL には、店舗名があらかじめ記憶されており、店舗コードと添字で対応している。また、テーブル BUNRUI-TBL には、分類名があらかじめ記憶されており、分類コードと添字で対応している。

テーブル TENPO-TBL

TENMEI	(1)	(2)	~	(20)
	△~△店	◇~◇店	~	▲~▲店

テーブル BUNRUI-TBL

BUNRUI	(1)
	書籍
	DVD・CD
	文房具
	その他
	店舗合計

- 第1図の売上ファイルを読み、テーブル SYUKEI-TBL に金額を集計する。なお、SYUKEI-TBL の行方向の添字は、テーブル BUNRUI-TBL の添字と対応している。また、列方向の添字は、テーブル TENPO-TBL の添字と対応している。

テーブル SYUKEI-TBL

SYU	(1)	(2)	~	(20)	(21)
(1)			~		(書籍)
(2)			~		(DVD・CD)
(3)			~		(文房具)
(4)			~		(その他)
(5)			~		(店舗合計)

(分類合計)

- ファイルを読み終えたあと、分類コードごとに集計した金額の降順に並べ替える。なお、金額が同じ場合は、店舗コードの昇順に並べ替える。また、店名を並べ替えるために、下記のテーブル HOZON-TBL を利用する。

テーブル HOZON-TBL

HOZON	(1)	(2)	~	(20)
			~	

- 第2図のように分類ごとに、店舗名、金額、割合を印字する。なお、分類がかわったら、分類合計を印字し改ページする。

<COBOL プログラム>

```

WORKING-STORAGE SECTION.
01 FLG          PIC 9(01).
01 MAX          PIC 9(02).
01 TEMP         PIC 9(07).
01 WARIAI      PIC 999V9.
      )
01 SYUKEI-TBL.
  02 SYU-T OCCURS 5.
    03 SYU     PIC 9(07) OCCURS 21.
01 HOZON-TBL.
  02 HOZON     PIC 9(02) OCCURS 20.
01 HEADER.
  02 H-BUNRUI  PIC X(12).
01 MEISAI.
  02          PIC X(02) VALUE SPACE.
  02 M-TEN     PIC X(10).
  02          PIC X(04) VALUE SPACE.
  02 M-KIN     PIC Z,ZZZ,ZZ9.
  02          PIC X(04) VALUE SPACE.
  02 M-WARIAI  PIC ZZ9.9.
  02          PIC X(01) VALUE "%".
01 FOOTER.
  02          PIC X(16) VALUE SPACE.
  02 F-GOKEI   PIC Z,ZZZ,ZZ9.
PROCEDURE DIVISION.
SYORI.
  OPEN INPUT URIAGE-F OUTPUT PRINT-F
  INITIALIZE FLG SYUKEI-TBL
  PERFORM UNTIL FLG = 1
    READ URIAGE-F
    AT END
      MOVE 1 TO FLG
    NOT AT END
      COMPUTE SYU(U-BUN U-TEN) = SYU(U-BUN U-TEN) + U-KIN
      COMPUTE SYU(U-BUN 21) = SYU(U-BUN 21) + U-KIN
      (1)
      COMPUTE SYU(5 21) = SYU(5 21) + U-KIN
    END-READ
  END-PERFORM
  PERFORM VARYING J FROM 1 BY 1 UNTIL J > 5
  PERFORM VARYING COD FROM 1 BY 1 UNTIL COD > 20
  (2)
  END-PERFORM
  PERFORM VARYING K FROM 1 BY 1 UNTIL K > 19
  MOVE K TO MAX
  COMPUTE L = K + 1
  PERFORM VARYING M FROM L BY 1 UNTIL M > 20
  IF (3) OR SYU(J M) = SYU(J MAX) AND HOZON(M) < HOZON(MAX)
    THEN
      MOVE M TO MAX
  END-IF
  END-PERFORM
  IF K NOT = MAX
    THEN
      MOVE SYU(J K) TO TEMP
      (4)
      MOVE TEMP TO SYU(J MAX)
      MOVE HOZON(K) TO TEMP
      MOVE HOZON(MAX) TO HOZON(K)
      MOVE TEMP TO HOZON(MAX)
    END-IF
  END-PERFORM
  MOVE BUNRUI(J) TO H-BUNRUI
  WRITE PRINT-R FROM HEADER AFTER PAGE
  PERFORM VARYING K FROM 1 BY 1 UNTIL K > 20
  (5)
  MOVE TENMEI(TEMP) TO M-TEN
  MOVE SYU(J K) TO M-KIN
  COMPUTE WARIAI = SYU(J K) * 100 / SYU(J 21)
  MOVE WARIAI TO M-WARIAI
  WRITE PRINT-R FROM MEISAI AFTER 1
  END-PERFORM
  MOVE SYU(J 21) TO F-GOKEI
  WRITE PRINT-R FROM FOOTER AFTER 1
  END-PERFORM
  CLOSE URIAGE-F PRINT-F
  STOP RUN.

```

(平成25年 9月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成25年度 (第49回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第1級

解 答 用 紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

小 計

【4】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小 計

..... [J a v a] ・ [マ ク ロ 言 語] ・ [C O B O L]

【7】

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

試験場校名	受 験 番 号	選 択 言 語		
		J a v a	マ ク ロ 言 語	COBOL

小 計

合 計

選択言語を で囲むこと

(平成25年 9月22日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成25年度 (第49回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	シ	カ	イ	ク	エ	

【2】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ア	ケ	ウ	キ	オ	

【3】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ウ	イ	ア	ウ	ア	

小計

30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	エ	ア	オ	イ	ウ	

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	オ	ケ	キ	エ	イ	

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	ア	ウ	コ	ク	カ	

小計

45

..... [Java] ・ [マクロ言語] ・ [COBOL]

[Java] (注) =, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	sortMonth [i] = i
	(2)	sellTotal [month]
	(3)	max = idxTotal
	(4)	serviceCode / 10
	(5)	goods [code]. printSellTotal ()

[マクロ言語] (注) 大文字, 小文字および=, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	Tuki (h, g) = h
	(2)	EveGok (m) = EveGok (m) + Nyujo
	(3)	EveCod (n) <> EveCod (0)
	(4)	Syukei (t, n) > Syukei (Max, n)
	(5)	EveGok (n)

[COBOL]

【7】	(1)	COMPUTE SYU (5 U-TEN) = SYU (5 U-TEN) + U-KIN
	(2)	MOVE COD TO HOZON (COD)
	(3)	SYU (J M) > SYU (J MAX)
	(4)	MOVE SYU (J MAX) TO SYU (J K)
	(5)	MOVE HOZON (K) TO TEMP

各5点 計25点

試験場校名	受験番号	選択言語			小計	合計
		Java	マクロ言語	COBOL	25	100

選択言語を で囲むこと